

ミドリ十字社が国内で献血以外に採血を行っていた場所は、銀行血の製造等を行う為に開設されたプラズマセンター（採血所）であり、大阪・神戸・名古屋・東京・京都・小倉・静岡の計7箇所存在していた。収集血液量の推移を、図表4-9および図表4-10に整理する。

**図表 4-9 全血採血期（単位：200ml／瓶）における収集血液量の推移**

年	血漿用血液 <sup>5</sup> （瓶）	保存血液 <sup>6</sup> （瓶）	合計（瓶）
1951(S26)	1,000	1,200	2,200
1952(S27)	11,200	3,000	14,200
1953(S28)	10,800	9,200	20,000
1954(S29)	30,400	16,800	47,200
1955(S30)	18,800	40,400	59,200
1956(S31)	16,400	70,400	86,800
1957(S32)	9,200	93,600	102,800
1958(S33)	12,400	123,300	135,700
1959(S34)	16,000	130,000	146,000
1960(S35)	21,200	146,400	167,600
1961(S36)	28,982	190,577	219,559
1962(S37)	28,491	222,777	251,268
1963(S38)	90,616	266,186	356,802
1964(S39)	150,455	198,461	348,916
1965(S40)	176,411	169,629	346,040
1966(S41)	74,868	99,942	174,810
1967(S42)	53,918	80,704	134,622
1968(S43)	68,107	65,868	133,975
1969(S44)	68,911	26,919	95,830
1970(S45)	—	9,699	9,699
合計	888,159	1,965,062	2,853,221

出所) H21.3.17 田辺三菱提供資料 『研究班からの質問に対する回答(6)』

<sup>5</sup> 採血した原料血液（200ml／瓶）より原料血漿として供用した血液瓶数

<sup>6</sup> 採血した血液（銀行血 200ml／瓶）瓶数